

アンサンブル・アメデオ第20回記念演奏会に寄せて

小川典子

アメデオの皆さん、第20回記念演奏会の開催、おめでとうございます。

3年前の演奏会でラプソディ・イン・ブルーを御一緒に以来、アメデオの皆さんと私は、さらに大きなピアノ協奏曲で共演したい、と言う思いをひとつにして来ました。今日ここに、世界初、マンドリン・オーケストラによるラフマニノフ作曲ピアノ協奏曲第二番が披露されます。

音楽愛好家の方々は、あの有名なコンチェルトをマンドリンでどのような味付けに、と興味を持たれていることでしょう。このマンドリンとピアノの組み合わせ、実に新鮮な響きに満ちています。小穴雄一さんの名アレンジによるところはもちろんです。が、中村亨さんのパトーンによる演奏をお聴き頂いたら、ラフマニノフは、取りも直さずバラライカの国から来た作曲家だったことに気づき、また納得して頂けると思います。

アメデオの皆さんは、一人一人個性的な音楽家であると同時に、それぞれ神経を使う仕事を持っています。皆さんの職業を聞いては、「こんな優秀な人たちと共演できるなんて！」と感動する私です。今回も、私は職業音楽家としてゲスト出演します。しかし、私にはアメデオの臨時メンバーになってみたい密かな願いもあるので。アメデオの音色は、音楽を作るみずみずしい喜びの原点を思い出させてくれるからです。今日、望みは叶うでしょうか…。

…叶った望み、と言えば、アメデオ・須藤純子さんと私の友情が見事に発展したことでしょう。この夏オープンする「ミュージア川崎シンフォニーホール」で、純ちゃんと私は仕事を共にすることになりました。共に川崎っ子である私達が、音楽を演奏する喜びから提供する喜びへ、密接にチームを組み、新しい分野に挑戦します。

第20回アメデオ演奏会、どうぞ皆様も、演奏する我々と同じくらい楽しい時間を過ごして頂けますように。



プロフィール



東京音楽大学付属高校を経て、ジュリアード音楽院に学ぶ。1983年日本国際音楽コンクール2位入賞。1987年リーズ国際コンクール3位入賞。これを機にロンドンと東京を拠点として活動を始める。NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、日本の主要オーケストラはもとより、フィルハーモニア管弦楽団、BBCスコットランド管弦楽団、エーテポリ交響楽団、ロイヤル・リヴァプール管弦楽団、サンディエゴ交響楽団、ラハティ交響楽団など、またサイモン・ラトル、レナード・スラトキン、オズモ・ヴァンスカなど、世界の主要オーケストラ、指揮者との共演も数多い。ベルゲン音楽祭、オーストラリア室内楽音楽祭、ラトビア音楽祭など海外の音楽祭に参加。英国ではBBC主催音楽コンクールの審査員を務める。

1996年の武満徹ピアノ作品集の録音以来、北欧最大のレーベルBISと専属契約を結び、話題を呼ぶ15枚のCDをリリース。現在、ドビュッシー・ピアノ作品全集の録音が進行中である。2003年に発売されたドビュッシー・シリーズ2枚目は英グラモフォン誌を筆頭に世界各誌で特選盤となっている。

2001年、英国の実力派ピアニスト、キャサリン・ストットとピアノデュオを結成。2003年、2人のために作曲されたBBC委嘱作品、G・フィットキン作曲の2台ピアノ協奏曲「サーキット」を世界初演。タイムズ紙他で絶賛された。ストット&オガワの初CDは2003年秋に発売。日本ツアーが今年の秋に予定されている。

今シーズンは、フィルハーモニア管弦楽団、BBCフィルハーモニック、BBCウェールズ・ナショナル響、ロイヤル・フィルハーモニー、香岩シンフォニエッタ、スイス・リサイタルツアー、ロンドン・ウイグモアホールでのリサイタルなど、国際的に活発に活動している。

1999年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞。

2003年「第5回ホテルオークラ音楽賞」受賞。

2004年7月オープンの「ミュゼザ川崎シンフォニーホール」のホールアドバイザーに就任。